

◆ 4 番（内田昇議員） 通告に基づきまして、議席番号 4 番、令和会の新人、内田 昇より一般質問をさせていただきます。

1、旧県立騎西高校の現状と今後の課題について。

①今から約 40 年前、1981 年、昭和 56 年、当時の騎西町民の希望の星として開校いたしました県立騎西高校ではありますが、2008 年に閉校するまでの 27 年間、多くの生徒を育て社会に送り出してまいりました。

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の折には、福島県双葉町の町民の皆さんが町ごと避難された高校として日本の歴史にも刻まれることでしょう。それ以来放置されていたグラウンドと教室の一部を埼玉県サッカー協会が彩の国 K A Z O ヴィレッジとして多くのサッカー少年少女が練習や試合の場として利用していますが、協会の管理運営の実態について伺います。

○小坂裕議長 斉藤生涯学習部長。

（斉藤千恵美生涯学習部長 登壇）

◎斉藤千恵美生涯学習部長 ご質問にお答えいたします。

旧県立騎西高校は、現在の県立誠和福祉高校との統合により、平成 20 年 3 月をもって閉校となった県有財産でございます。議員お話しのとおり、平成 23 年 3 月から平成 26 年 3 月までの約 3 年間は、福島県双葉町の方々の避難所として活用された施設でもあります。

本市では、避難所としての機能を終えた旧県立騎西高校の既存の施設を有効に活用できるよう、合宿が可能な宿泊施設を備えた県民のスポーツ活動の拠点として整備してほしい旨の要望書を平成 27 年 1 月 15 日、埼玉県知事に提出をいたしました。

これを受け、平成 27 年 11 月、埼玉県教育局が未利用施設の活用に関する調整会議及び未利用施設の活用に関するワーキングチームを設置し、意見交換や検討を行いました。この構成メンバーですが、未利用施設の活用に関する調整会議は、埼玉県教育局副教育長を議長とし、加須市長、加須市議会議員、埼玉県議会議員、埼玉県県民生活部スポーツ局長の 5 名で構成され、未利用施設の活用に関するワーキングチームは、埼玉県教育局教育総務部長を座長とし、埼玉県体育協会副会長、埼玉県都市整備部の営繕課長及び公園スタジアム課長、県民生活部のスポーツ振興課長及びオリンピック・パラリンピック課長、教育局教育総務部財務課長、加須市から総合政策部長と生涯学習部長、この 9 名で構成されたものでございます。

これらの会議を受け、埼玉県は旧県立騎西高校をスポーツ活動の拠点として活用するため、公益財団法人埼玉県サッカー協会と連携して整備を進める方針を平成 28 年度に決定いたしました。平成 29 年度には、埼玉県がグラウンド整備に支障となる不要工作物の撤去や 300 台の駐車場整備工事などを行い、平成 30 年 9 月には、埼玉県と埼玉県サッカー協会が旧騎西高校の土地と建物一部を貸し付ける契約を締結した後に、埼玉県が平成 30 年度に教室棟や体育

館などの改修工事を行ったものでございます。その後、埼玉県サッカー協会が平成 30 年度に人工芝のサッカーグラウンド 2 面の整備を行い、平成 31 年 3 月に S F A フットボールセンター彩の国 K A Z O ヴィレッジがオープンいたしました。

現在、S F A フットボールセンター彩の国 K A Z O ヴィレッジは、人工芝のサッカーグラウンド 2 面のほか、体育館の 1 階には、トレーニング室、剣道室、卓球場、柔道場教室を、さらに体育館 2 階には、フットサルができる体育室を有した埼玉県におけるサッカーの総合拠点として、埼玉県サッカー協会が管理運営しているものでございます。

○小坂裕議長 内田議員。

◆4 番（内田昇議員） ②それでは、実際にこのグラウンドをどのような方々が利用しているのか、月別の利用者数、クラブ数、その他年代、そしてどの地域の方々が利用しているのかを伺います。

○小坂裕議長 斉藤生涯学習部長。

◎斉藤千恵美生涯学習部長 ご質問にお答えいたします。

管理をしております埼玉県サッカー協会に確認したところ、利用者数の集計はされておりませんが、集計されている利用団体件数を申し上げます。

令和 4 年度 4 月 98 件、5 月 130 件、6 月 117 件、7 月 146 件、8 月 139 件、9 月 128 件、10 月 133 件、11 月 127 件、12 月 119 件、1 月 102 件、2 月 89 件、3 月 88 件であり、合計 1,416 件のうち、市内団体の利用は 232 件でございます。また、年代や地域についての集計はされていないとのことでございますが、年代につきましては小学生から高校生の利用が多いとのことで、また、市内の利用団体では花咲徳栄高校サッカー部や不動岡高校のサッカー部、総合型地域スポーツクラブである埼玉 K A Z O スポーツクラブなどが利用されているとのことでございます。また、地域につきましては市外からの利用が多いとのことでございました。

○小坂裕議長 内田議員。

◆4 番（内田昇議員） 答弁ありがとうございます。

答弁のとおり、市内はもちろん市外、県外からの利用者数も多いことが分かりました。県南から首都圏にかけてはもはやこのようなグラウンドはなく、大きなニーズがあることも分かります。埼玉県は 2002 年に開催されましたサッカーワールドカップの開催地、浦和美園の埼玉スタジアム、そしてプロサ

サッカーチームレッズやアルディージャを有するサッカー大国でもあります。したがって、市長が力を入れている女子野球とともに一体化したスポーツビレッジも夢の話ではありません。

そういったことも視野に入れて次に移ります。

それでは、市外の利用者の交通手段について伺います。

○小坂裕議長 斉藤生涯学習部長。

◎斉藤千恵美生涯学習部長 ご質問にお答えいたします。

この施設内には約 300 台分の駐車場がございますので、貸切りバスや自家用車でのご来場が大半を占めているとのことでございます。

公共交通機関を利用する場合には、約 10.5 キロメートルの距離にあるＪＲ高崎線鴻巣駅からは路線バス、また、約 4.4 キロメートルの距離にある東武伊勢崎線加須駅からは路線バスや徒歩による利用者が見られるとのことでございます。

○小坂裕議長 内田議員。

◆４番（内田昇議員） ③共通の交通機関は路線バスのみで、バスのダイヤが非常に少なく１時間に３本が何回か、そして１時間に２本か１本がほとんどでございます。少なくともバスの増便を要請するようにお願いします。

利用者の多くはそのほかマイカーを利用しております。試合があるときなどはあの駐車場で足りませんで、近くの玉敷神社なんかにも多く止めております。アクセスが悪いといった課題が浮かび上がっていることも事実として受け止めていただきたいと思います。

次に、④サッカーはスポーツの中でも特にハードなスポーツです。練習が終わってバス、電車で帰る選手たちにせめてシャワー設備の整備を進めることは衛生面からも必要と考えますが、市の考えについて伺います。

○小坂裕議長 斉藤生涯学習部長。

◎斉藤千恵美生涯学習部長 ご質問にお答えいたします。

先ほどご説明いたしましたとおり、ＳＦＡフットボールセンター彩の国ＫＡＺＯヴィレッジは、埼玉県が本市からの要望を受け、未利用施設の活用に関する調整会議や未利用施設の活用に関するワーキングチームでの会議を踏まえて跡地利用を決定した施設でございまして、埼玉県と埼玉県サッカー協会と

の協議により必要な設備を整備されたものでございます。シャワー設備の整備につきましては、今後埼玉県サッカー協会において整備が必要と判断された際には、埼玉県と協議されるものと存じております。

○小坂裕議長 内田議員。

◆4番（内田昇議員） ただいまサッカー協会と協議ということでありました。なでしこリーグでもおなじみのように、今や女性のサッカー人口も多いわけで、設備の充実は喫緊の課題と言っても過言ではありません。

次に移らせていただきます。

⑤冒頭に申し上げたとおり、旧騎西高校は騎西地域の市民にとってはシンボリックな存在です。市長は、加須市はごみのリサイクル率は全国で5位とトップクラスを強調しておりますが、市内のあちこち、特に騎西地域においては文化会館そして老人センターなど、放置されたままの施設が目につきます。そこで、旧県立騎西高校の跡地利用の今後の加須市としての取組や方針について伺います。

○小坂裕議長 角田市長。

（角田守良市長 登壇）

◎角田守良市長 ご質問にお答えをいたします。

生涯学習部長が答弁申し上げましたとおり、旧県立騎西高校、これが避難所の役割を終えた後にそれをどう活用していくかということにつきましては、県の施設でありますことから、市からの要望を受ける形で埼玉県が未利用施設の活用に関する調整会議という組織を設置して検討した経過がございます。当時の加須市長などもその委員の一員となり検討に加わりました。その結果、今のSFAフットボールセンターとなっているところでございます。

確かに旧県立騎西高校跡地、この施設にはまだ利用していない部分もございます。騎西市街地、玉敷神社の南側にありますし、国道125号線1本入った、国道125号線沿いと言ってもいいぐらいの位置にもありまして、これは活性化拠点となり得る大きな可能性も秘めていると思います。

地域のニーズ、それから市民ニーズも踏まえまして、改めて再度始動するということであれば、所有者である埼玉県に対して未利用部分の有効活用、これらをまずは相談を持ちかけ、その後要望をしてまいりたいと存じます。

○小坂裕議長 内田議員。

◆4番（内田昇議員） ご答弁ありがとうございます。

改めて再度という可能性を伺いました。県の施設とはいっても、加須市騎西に建っているわけで、いまだ利用可能な建物が放置されている実態は市民としても納得がいきません。建物もリサイクルしようではありませんか。先ほど申し上げた女子野球の聖地が目と鼻の先に存在するわけですから、それをつなげる形で再生を目的とした再利用を検討すべきだと考えます。

先ほどの答弁にもありましたように平成27年から29年にかけて、未利用施設の活用に関する調整会議が開かれたということは伺っております。そして、実際にワーキングチームが立ち上がりました。その結果、今のように埼玉県サッカー協会がグラウンドと教室の一部を整備したという経緯でございます。様々な改善や整備、拡張等について県やサッカー協会など関係機関をメンバーとする会議をもう一度立ち上げる考えはないのか市長に伺います。

○小坂裕議長 角田市長。

◎角田守良市長 再質問にお答えをいたします。

「建物もリサイクルしよう」、これはなかなかすばらしいキャッチフレーズだなと。用途が終わった建物を別な用途で活用できないか、これは合併後の加須市にとっての大きな課題の一つでございます。まだ解決されていない課題、これからどうするかをさらに踏み込んで検討していく課題でございます。

「建物もリサイクルしよう」。お話しのご質問の件については、これは県に相談して要望をしていく中で、どういう手法が可能なのか、また、同じような検討会議の設置ということが可能なのか、それが望ましいのか、そこから相談をしてまいりたいと考えております。

○小坂裕議長 内田議員。

◆4番（内田昇議員） 答弁ありがとうございました。

騎西高校は東部地区唯一の体育科を併設した高校で、高校では数少ないウエートリフティング部や弓道、ラグビー部などを持つ県内有数のスポーツ校でした。特に、ウエートリフティング選手の高橋百合子さんのようなシドニーオリンピックの代表選手を輩出しております。この高校跡地を中心として、女子野球の聖地、田ヶ谷サン・スポをつなぐ加須市のスポーツ振興の目玉とすることを提案いたします。

続きまして、質問の2に移らせていただきます。

水害時の避難についてとした理由について申し述べます。皆さんご承知のように加須市は一級河川が2本、そして近隣では鴻巣市を流れる荒川を含めると3本に挟まれた市です。したがって、台風等の際には常に緊張感を持って対処しております。

そこで、①特に大利根地域の住民の避難場所は騎西となっているが、具体的な受入施設について伺います。

○小坂裕議長 今村大利根総合支所長。

(今村伊知朗大利根総合支所長 登壇)

◎今村伊知朗大利根総合支所長 ご質問にお答えいたします。

水害時の市民の避難につきましては、令和3年8月に改訂いたしました加須市地域防災計画第3編、風水害対策編におきまして、まずは、浸水想定区域外の安全な場所にいる親類、知人宅、ホテルや旅館等の避難先の確保をしていただきたいと考えております。

次に、水害時避難場所に避難する際には、避難時の渋滞をできるだけ避けるとともに、限られた公共施設を有効に活用するため、大利根地域では騎西地域と加須地域東部にある公共施設等について、避難情報の段階別及び自治協力団体ごとに水害時避難場所を指定しております。

大型の台風が関東地方に接近する2日前から1日前の明るい時間に、警戒レベル3高齢者等避難を発令した段階では、大利根地域からの水害時避難場所として騎西総合体育館ふじアリーナを指定し、大利根中学校、大利根東小学校、原道小学校、豊野小学校からバスによる避難を実施いたします。避難対象者は、原則、災害時要援護者とその支援者及び避難に時間を要する高齢者等となっております。

続いて、大型の台風が関東地方に接近する当日、最接近の8時間前までの明るい時間に、警戒レベル4避難指示を発令した段階では、あらかじめ自治協力団体ごとに指定した水害時避難場所への避難をしていただくことになります。この時点では地域内の全住民が避難対象者となります。

具体的に自治協力団体名及び各水害時避難場所を申し上げますと、新川通上、新川通下、中渡、渡沼は水深小学校、外記新田、堀南3区、大利根ハイツ、北平野、北下新井下東、砂場は騎西総合体育館ふじアリーナ、堀北1区、堀南2区は平成国際大学、堀北2区は加須げんきプラザ、堀南1区は加須東中学校、東ヶ丘は川口コミュニティセンター、リビエルコートは環境浄化センター、道目、十軒、細間団地、琴寄本田、阿佐間、間口、北大桑下は彩の国KAZOヴィレッジ、佐波、弥兵衛は田ヶ谷小学校、細間、砂原は田ヶ谷総合センター、北下新井上、琴寄新田は高柳小学校、北下新井中、富士見台は騎西小学校、北下新井野中は騎西中学校、新井新田、北大桑上、松永新田は種足小学校、杓子木、生出は鴻荃小学校となっており、大利根地域住民の水害時避難場所としては、騎西地域で9か所、加須地域東部で6か所、このほか車中避難用の水害時避難場所として騎西地域にございます興和株式会社及びセンコー株式会社の2か所を指定しているところでございます。

市では、ご自身の地区の水害時避難場所や避難行動の周知徹底を図るため、令和3年にハザードマップの改訂をした際に、地区別の水害時避難場所を掲載したチラシを全戸配布するとともに、総合支所や大利根文化・学習センターアスタホール等にチラシを配架し、さらに令和4年8月にも改めて全戸配布をしたところです。

また、これらに加え、昨年に引き続きまして、令和5年7月2日には市内全地域の自治協力団体及び民生委員・児童委員の方などにご協力をいただき、大型台風の接近、上陸を想定した総合水害広域避難訓練を実施し、大利根地域を含む広域避難対象地域から自家用車または大型バスを利用して指定の水害

時避難場所まで避難する広域避難訓練や、各水害時避難場所において市職員により編成された水害時避難場所運営班と加須・騎西地域の避難受入先及び避難元の市民の方々が協働で行う水害時避難場所開設運営訓練を実施する予定でございます。このほか、各地区の自主防災組織等が主体となり実施される自主防災訓練や防災出前講座へ市職員を派遣し、水害時避難行動の説明を実施するなど、さらなる市民の防災・減災への意識の高揚を図ってまいりたいと存じます。

○小坂裕議長 内田議員。

◆4番（内田昇議員） ただいま報告のように日常の防災対策に関しましては、自治体等を通じてかなり綿密に計画され実行していると認識しております。

私は提案でございますが、長期化した場合の避難場所として、12年前の東日本大震災時に双葉町民の受入れに携わった経験者として申し上げます。現在の加須市としてはその12年前と何ら変わった準備がありません。万が一、利根川が決壊した場合、1週間や10日で避難が解除されるとは予想されません。あの双葉町を受け入れておきながら、その体験を学習して生かしていないと言っても過言ではありません。私はあのときの双葉町民の惨状を加須市民に味わわせることは到底できるものではありません。

提案ですが、第1の質問と絡めて、旧騎西高校を合宿所として整備し、非常時には避難場所として活用する、一級河川を抱えた市としては当然の備えであることを提案いたします。この提案をいたしまして質問を終了とさせていただきます。ありがとうございます。